

会 議 議 事 録

1 会議名	令和6年度 第2回社会教育委員会、公民館運営審議会
2 開催日時	令和6年11月28日（木）午前10時00分～午後3時15分
3 開催場所	<午前> (有)小国和紙生産組合 <午後> おぐにコミュニティセンター 大会議室
4 出席者	<社会教育委員兼公民館運営審議会委員> 野田委員、前田委員、小方委員、松井委員、今井委員、藤田委員、黒崎委員、西片委員、八子委員、富永委員、岡田委員、梅澤委員、大淵委員、山崎委員、山田委員、若月委員 <事務局職員> 中村中央公民館長、池澤主査
5 欠席者	荒尾委員、大森委員、小川委員、小林委員
6 会議内容	<午前> 1 あいさつ 2 小国和紙の紙漉き体験 3 工房見学及び社会教育関連の取り組み紹介 <午後> 4 報告 (1) 第66回全国社会教育研究大会茨城大会の参加報告 (2) 自主研修（中之島コミュニティセンター視察訪問）のまとめ 5 議題 グループワーク 【検討テーマ】 ① 自身の所属団体や居住地域などで関わっている活動について、他の委員に紹介したい取り組みや気になる取り組みなどを情報交換 ② 社会教育に係る事業・イベントなど（市内外・官民間問わず）に参加した際の感想や意見などを情報交換
7 議題の審議結果	① 各委員が関わっている様々な取り組みやその成果などについて情報交換することで、相互の活動に対する理解が一層深まったとともに、自身の活動への新たな気付きや課題等を発見することができた。 ② 自身が参加した各種事業の参加報告を共有することで、市の社会教育事業を評価する際の足掛かりとすることができた。また、実際に事業に参加したことで見えてきた課題もあり、社会教育委員として今後どのように関わっていくべきか検討を続けていく。

8 議題の審議内容

委員	<p>【テーマ①について】</p> <p>放課後児童クラブや子どもの防犯などのお話に興味を持った。その中でも保育園の取り組みとして、「子ども主体の保育」「保護者が手ぶらで預けることができる保育園」に感銘を受けた。保育補助の方の協力を得ながら、指示型の保育ではなく、子どものやりたいことを尊重した保育を行っているとのことだった。また、保育園児といえども対話を重要視しているという点が非常に良かった。これらは地域づくりにとっても大切な視点だと思った。</p>
委員	<p>「勝ち負けだけではないスポーツの楽しさ」を子どもたちに伝えたり、「スポーツを通じた大人のつながりづくり」など、皆さんがご自身の経験や興味関心を活かして社会貢献活動につなげていた。</p> <p>学校とつながることも今後の人材活用にとって大切であると感じた。特に、今日は小国和紙作りの活動も学ばせていただいたが、地域の学校と積極的に交流されている様子もお聞きできた。このことで、子どもたちに伝統工芸を体験する機会を与えることができ、興味を持ってもらうことができるだろうと思う。他の委員も学校との連携を色々と工夫されていた。</p>
委員	<p>防災対応について、地域内の交流不足や、外国人や障がい者など、地域毎にうまく相談しながら解決しなくてはいけないことが分かった。ただ、コロナで会議など相談する場もなくなってきたので、新しくつなげる場を作りあげることも必要だと感じた。</p> <p>P T Aだよりを電子化した事例もお聞きできた。電子化に対応できない家庭には紙でも配布したりと、効率と配慮を上手く組み合わせしており、さすがだと思った。また、コミュニティスクールの会議では連合町内会長から活動資金の協力を取り付けたりと、つながりを作りながら活動を増やす工夫をされていた。</p>
委員	<p>P T Aに加入しない保護者が多くなっていると聞いた。その必要性なども議論していく必要があると思うが、ただ不要と言うのではなく、参加したくなるような企画作りなど、P T A自体の魅力アップを図ることも大切ではないかと思う。P T Aが機能しないことで子どもにしわ寄せが来ないようにする必要があったと感じた。</p> <p>笑顔も大切。オーストラリアに20年在住していた委員からは、外国人と比べると長岡人はシャイである、褒めること、褒められることが苦手だ、という意見もあった。社会教育においても大事にしたい考え方であるため、本委員会も笑顔を大切に進めていきたいと思います。</p>

委員	<p>【テーマ②について】</p> <p>地域学びコーディネーター講座などに参加したが、せっかく良い講座を実施しても、市民への周知が不十分であると感じた。市民が参加できる講座等をまとめたホームページを作成し、アクセスできるQRコードを広報物に印刷したり市内各所に設置するなど、市民が手軽に知ることができる仕組みがあると良い。</p>
委員	<p>「薬剤師のお話」や「町内会の運営」などの講座に参加したが、質疑応答が非常に盛んであった。講座のテーマによっては市民の学習ニーズがとても高いように思う。学習ニーズを掘り起こし、それに応える講座を増やしてほしい。</p>
委員	<p>コミセンの催し物に参加した。子どもの発表や作品展示などもあり、多世代が盛んに交流している様子うかがえた。地域コミュニティに子どもたちは必要。子どもが進んでコミセン等を利用するムードを作るためにもPRしていきたい。</p>
委員	<p>地域によっては住民が少なかったり、地域活動に対する意欲が低かったりしている。活動をするにしても同じ顔ぶれ。やる気のある人材は大事にしている。中心市街地だけではなく、支所地域などの周辺地域にも血の通う政策が必要だと感じる。</p>
9 会議資料	別添のとおり